

人と音を結び

**クラシック名古屋**  
Classic Nagoya  
〒460-0024  
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F  
TEL (052) 678-5310 FAX (052) 678-5330  
http://clanago.com

プレイガイド  
**アイチケット**  
0570-00-5310



# ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

**MP MANAGEMENT PRO**

①舞台イベントの企画・制作・マネージメント  
②芸術コンサルティング  
③タレントのマネージメント  
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ  
〒464-0850 愛知県名古屋千種区今池1-14-11 CASA LUZ302  
TEL.052-735-3151 FAX.052-735-3152  
E-mail: mane-pro@mane-pro.com  
HP: http://www.mane-pro.com

**107 ALBINA**

ロシア極東ハバロフスク出身のシンガーALBINA(アルヒナ)が「エルム」に初登場した。世界地図を見ると、日本との距離は驚くほど近い。直

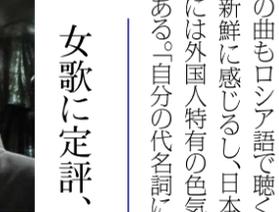


ALBINA

極東ロシアのスーパーシンガー  
「シャンソンの扉」  
行便なら、わずか3時間、まさに隣国である。そのハバロフスクの芸大で音楽を学び、1999年に来日したALBINA。以来、静岡を拠点に演奏活動を展開している。「私たちがとって、当時の日本は超先進国でした。でも長く居ると悪い点も見えてきます」と苦

**106 若月あきら**

美輪明宏の歌心にひかれ、シャンソン歌手を志したという若月あきら(福島出身)。高校卒業後に上京し、アクティブな演奏活動を展開する江川



若月あきら

の曲もロシア語で聴くと新鮮に感じるし、日本語には外国人特有の色気がある。自分の代名詞になるような、オリジナル曲を日本で出したいという。(Shigee)

**女歌に定評、新宿「新巴里」の星**  
康人(2014年死去)に師事。二人三脚で新宿「新巴里」の運営に携わってきた。江川亡き後はフリーの歌手として独自のシャンソン道を模索している。「師匠のようになりたい。その一心で頑張ってきた」と江川をしのぶ若月。「師匠から得たものを土台に、焦らずじっくりと将来を見極めたい」とも。

12/30~1/3・年末年始休業  
H30/1/4(木)より通常営業  
OPEN 11:00 - 19:00

ドレスショップ/アンクレール  
TEL 052-739-6155 月曜定休日 上社駅前すぐ

**特選公演**  
和太鼓集団「鬼太鼓座(おんどうざ)」1月29(午後6時30分)アートピアホール。1969年に佐渡で結成された和太鼓集団。メンバーには2015年に入団した名古屋出身の松井政志(21歳)も。全指定、S席3800円、A席3000円、TEL 052(249)9387。

— 皆さまの理想の舞台を実現します —

**2018年1月22日より移転し、新住所となります。**

新住所  
〒461-0004  
名古屋市中区葵2-11-22 アバンテッジビル305

MP MANAGEMENT PRO  
株式会社マネージメント・プロ  
HP: http://www.mane-pro.com E-Mail: mane-pro@mane-pro.com

ナゴヤ劇場ジャーナル

## 平山素子 & 加藤訓子 初共演

26-28日 芸術劇場で「DOPE」公演



平山素子 ©Tamaki Yoshida



加藤訓子 ©michiyuki ohba

**ライヒ作曲「ドラミング」に挑戦**  
ともに愛知県出身のアーティスト、加藤訓子(パーカッション)と平山素子(コンテンポラリーダンス)が初共演。1月26-28日、愛知県芸術劇場小ホールで「DOPE」II 愛知県芸術劇場企画公演IIを上演する。「DOPE」は「COOL」同様「最高」や「やばい」を意味する俗語。もちろん加藤、平山のコラボレーション

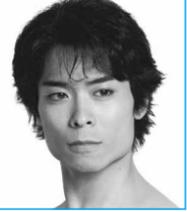
初の試みだという。平山もまた、自ら考案した振付を他のダンサーに踊らせて検証し、複数のダンサーが踊っているような、新たなムーブメントを模索している。加藤は「フリーズを重ねていくことに驚きと感動がある。曲の素晴らしさを実感しています。世界初の「一人ドラミング」と、ダンス作品としての舞台化に期待をふくら

**東海地区スターダンサーが集結**  
東海地区を代表するダンサーがバレエ団の枠を越え集結、新春のステージを彩る。1月20-21日には日本バレエ協会中部支部が、2月10-11日にはBALLET・NEXT

の解釈をダイレクトに伝えたい」とメッセージを寄せている。上演は26日(午後7時) (971)5609。

27、28日(午後2時)。全指  
定席4000円、25歳以下  
2000円。TEL 052  
(971)5609。

「パキータ」よりグラ  
ン・パ。20日(午後6時)  
は佐々部佳代、ワディム・  
ソロマハ、加藤満里、渡辺  
朋子、越智友則ほか。21日  
(午後2時)は西田悠乃、  
碓氷悠太、高橋利子、吉村  
菜奈子、市橋万樹ほか。  
2部は島崎徹振付のコ  
ンテンポラリー「Abs  
ence of Story  
ry」。石黒優美、岩本有  
里子、西川花帆ら11人の  
ダンサーが新作に挑む。  
全自由席4000(当日  
4500)円。TEL 052  
(961)1811。  
BALLET・NEXT  
「インセント・グレー」  
映画「エレファント  
マン」の原作を舞台化  
した市川透の意欲作。  
2012年の初演。母親  
からも忌み嫌われる醜い  
容姿を授かった少女の哀  
しみと絶望、そして救済  
の物語。  
主演は10日(午後6時)  
が長友麻衣花・碓氷悠太  
11日(正午)は山下恵理  
奈・梶田真嗣、同(午後  
4時)は西尾美紅・清水  
健太。ほかには後藤晴雄、小  
出領子、竹之内彩恵、穂積  
万理、長谷川元志ら。  
指定席8000円、自  
由席6500円(当日は  
各500円増し)。TEL 05  
2(779)0756。

 碓氷 悠太	 長友麻衣花	 ワディム・ソロマハ
 山下恵理奈	 梶田 真嗣	 佐々部佳代
 清水 健太	 西尾 美紅	 西田 悠乃
 石黒 優美		

舞台批評

高い人気と実力を誇る名古屋の二つの老舗バレエ団が、クラシックバレエの代名詞ともいえる名作を愛知県芸術劇場大ホールで競演した。越智インターナショナルバレエの「新・白鳥の湖」(11月12日)と、松岡伶子バレエ団の「白鳥の湖」(12月10日)。特性を發揮した質の高い全幕上演は、目の肥えたファンをも魅了したのである。

深遠な愛を甘美に昇華させた両舞台の演出や振付は隅々まで細かく目が行き届き、美術や衣装は要を得て簡潔だ。

越智／松岡「白鳥の湖」華麗な競演

初々しい白鳥、情熱と躍動の黒鳥



(撮影・むらはし和明)

松岡伶子バレエ団「白鳥の湖」

の鋭いテクニクが持ち味の早矢仕は躍動感があり、黒バラのようには華やかな黒鳥を妖艶に、情熱的に造形した。王子は越智版がワディム・ソロマハ、松岡版は確実な。ともに愛困気を一瞬で変えるオーラやダイナミックな技巧、優雅な立ち居振る舞いは王子そのものだ。相手役のサポートに徹する深さにも好感が持てた。越智版の越智友則、松岡版の林高弘の道化は、技巧に裏付けされたおどけぶりで楽しませた。

松岡版は、オデットを松本千明、オデットを早矢仕友香が踊った。松本は優美な身体に音楽を取り込み、異性への憧れや恋の喜び、愛を失った嘆きなどの心象を、首筋から足先まで神経が行き届いた端正さと初々しい気品で表出した。切れ味

繊細な女性心理をヒロインに託し



(撮影・岡村昌夫(テス大阪))

越智インターナショナルバレエ「新・白鳥の湖」

な脚で空気を切り開く優雅さは無類である。大人の思慮で女性の繊細な心理を白鳥オデットと黒鳥オデットに凝縮する踊り分けも奏功し、深遠な幻想世界を紡ぎ出した。

清浄な魂の白鳥たちと一緒に邪悪な心の黒鳥6羽を踊らせた終幕は、人間の表裏一体性を象徴しているようで興味深い。

わたなべこうじマンガ劇場



川口節子バレエ団

母・川口節子と、娘・松村一葉の優れた創作バレエで、名古屋舞踊界をリードする川口節子バレエ団が、2017年の創作バレエ公演「舞浪漫」(11月23日・芸術創造センター)を開いた。

旧7作を55人が踊った。私の選んだベスト1はメインの「初恋」ではなく、幕開けに上演された川口作の「眠れる森」だ。「眠れる森の美女」のオーロラ姫(中谷友香)が、100年の眠りから覚めるシーンを、シニカルにコミカルに描いた創作バレエ。彼女を守り続けて来た森の主(木原浩太)と、彼女を自覚めさ

NORIKOバレエ

充実した良い公演だった。これほど楽しい「パリの喜び」(演出・振付/徳山博士)を見たのは初めてだ。NORIKO

母・川口、娘・松村、創作で競う



「眠れる森」(撮影・杉原一馬)

「パリの喜び」で団の成長を実感



「パリの喜び」(演出・振付/徳山博士)

身体能力+ニューモアで本領発揮



(撮影・羽鳥直志)

「大山曼荼羅」

舞踊教育者コース。その卒業生で結成された「プロジェクト大山」(主宰・古家優里)が初の名古屋公演を行った(11月10日・愛知県芸術劇場小ホール)。

コンテンポラリーダンスの育成に定評のある、お茶の水女子大学

身のスパーダンサー三輪亜希子が在籍してお

り、彼女と同レベルのダンサー5人(メンバーは全6人)が出演するのだから、期待するのは当然だ。で、本番。全員が踊って踊って踊り倒すステージではなく、それぞれが個性の一端を、ニューモアを交えて披露する、「コンドルズ」(主宰・近藤良平)系のオムニバス・ステージだった。それでも個々の優れた身体能力は十分見て取れ

た。中でも三輪の驚異的な身体能力が再確認できた。芸術性を追求するだけがダンス道ではない。ショー的要素も、集客には大きな武器になる。名古屋でも、こんなグループができればうれしい。ちなみに三輪は1月20日、とよはし芸術劇場PLATで公演されるミュージカル「ナイマン」ではスペインを踊った杉山桃子、「花のワルツ」のソリスト(太田愛

DanSkate ダンスケイト logo and contact information: http://danskate.com, TEL 052-265-7900

深川作品でレベルの高さを証明



(撮影・岡村昌夫(テス大阪))

「ソワレ・ドゥ・バレエ」

大舞台が、そしてホール全体がロマンのベールに覆い尽くされる。観客は名匠・深川秀夫が繰り広げる魅惑のステージに、どっぴりと心身をゆだねたのである。2017年の塚本洋子アクトドバレエカ

れが実感できる公演だった。1部、2部のコンサートでは、パ・ド・ドゥを踊った村橋里佐子や日比野紗也、抜群のステージングを見せた田中優衣らジュニア勢が豊かな可能性を感じさせ、高田彩加、山田玲菜ら上級者が堂々たる踊りっぷりで貴録を脱帽だ。(シゲル)

神谷久美子バレエ

創立15周年を迎えた神谷久美子バレエスクールの「くるみ割り人形」(12月3日・豊田市民会館会館大ホール)を上演した。

御香紗也プリンシパル・デビュー



「くるみ割り人形」(撮影・杉原一馬)

Compagny、波多野渚砂(東京バレエ団)が堅実な演技で花を添えた。(寺村敏)

華、板野史紗、多和田菜花らが印象に残った。ワシントン・スクール・オブ・バレエの留学から戻った御香紗也は、金平糖役で華やかにプリンシパル・デビュー。スクールのから巣立った杉山桃子(K-Ballet

市文化振興事業  
業団主催公演

北文化小劇場「BEA  
UTIFUL JAPAN」

1月27日(午後2時)  
1月28日(午後2時)  
1月29日(午後2時)  
1月30日(午後2時)  
1月31日(午後2時)  
2月1日(午後2時)  
2月2日(午後2時)  
2月3日(午後2時)  
2月4日(午後2時)  
2月5日(午後2時)  
2月6日(午後2時)  
2月7日(午後2時)  
2月8日(午後2時)  
2月9日(午後2時)  
2月10日(午後2時)  
2月11日(午後2時)  
2月12日(午後2時)  
2月13日(午後2時)  
2月14日(午後2時)  
2月15日(午後2時)  
2月16日(午後2時)  
2月17日(午後2時)  
2月18日(午後2時)  
2月19日(午後2時)  
2月20日(午後2時)  
2月21日(午後2時)  
2月22日(午後2時)  
2月23日(午後2時)  
2月24日(午後2時)  
2月25日(午後2時)  
2月26日(午後2時)  
2月27日(午後2時)  
2月28日(午後2時)  
2月29日(午後2時)  
3月1日(午後2時)  
3月2日(午後2時)  
3月3日(午後2時)  
3月4日(午後2時)  
3月5日(午後2時)  
3月6日(午後2時)  
3月7日(午後2時)  
3月8日(午後2時)  
3月9日(午後2時)  
3月10日(午後2時)  
3月11日(午後2時)  
3月12日(午後2時)  
3月13日(午後2時)  
3月14日(午後2時)  
3月15日(午後2時)  
3月16日(午後2時)  
3月17日(午後2時)  
3月18日(午後2時)  
3月19日(午後2時)  
3月20日(午後2時)  
3月21日(午後2時)  
3月22日(午後2時)  
3月23日(午後2時)  
3月24日(午後2時)  
3月25日(午後2時)  
3月26日(午後2時)  
3月27日(午後2時)  
3月28日(午後2時)  
3月29日(午後2時)  
3月30日(午後2時)  
3月31日(午後2時)  
4月1日(午後2時)  
4月2日(午後2時)  
4月3日(午後2時)  
4月4日(午後2時)  
4月5日(午後2時)  
4月6日(午後2時)  
4月7日(午後2時)  
4月8日(午後2時)  
4月9日(午後2時)  
4月10日(午後2時)  
4月11日(午後2時)  
4月12日(午後2時)  
4月13日(午後2時)  
4月14日(午後2時)  
4月15日(午後2時)  
4月16日(午後2時)  
4月17日(午後2時)  
4月18日(午後2時)  
4月19日(午後2時)  
4月20日(午後2時)  
4月21日(午後2時)  
4月22日(午後2時)  
4月23日(午後2時)  
4月24日(午後2時)  
4月25日(午後2時)  
4月26日(午後2時)  
4月27日(午後2時)  
4月28日(午後2時)  
4月29日(午後2時)  
4月30日(午後2時)  
5月1日(午後2時)  
5月2日(午後2時)  
5月3日(午後2時)  
5月4日(午後2時)  
5月5日(午後2時)  
5月6日(午後2時)  
5月7日(午後2時)  
5月8日(午後2時)  
5月9日(午後2時)  
5月10日(午後2時)  
5月11日(午後2時)  
5月12日(午後2時)  
5月13日(午後2時)  
5月14日(午後2時)  
5月15日(午後2時)  
5月16日(午後2時)  
5月17日(午後2時)  
5月18日(午後2時)  
5月19日(午後2時)  
5月20日(午後2時)  
5月21日(午後2時)  
5月22日(午後2時)  
5月23日(午後2時)  
5月24日(午後2時)  
5月25日(午後2時)  
5月26日(午後2時)  
5月27日(午後2時)  
5月28日(午後2時)  
5月29日(午後2時)  
5月30日(午後2時)  
5月31日(午後2時)  
6月1日(午後2時)  
6月2日(午後2時)  
6月3日(午後2時)  
6月4日(午後2時)  
6月5日(午後2時)  
6月6日(午後2時)  
6月7日(午後2時)  
6月8日(午後2時)  
6月9日(午後2時)  
6月10日(午後2時)  
6月11日(午後2時)  
6月12日(午後2時)  
6月13日(午後2時)  
6月14日(午後2時)  
6月15日(午後2時)  
6月16日(午後2時)  
6月17日(午後2時)  
6月18日(午後2時)  
6月19日(午後2時)  
6月20日(午後2時)  
6月21日(午後2時)  
6月22日(午後2時)  
6月23日(午後2時)  
6月24日(午後2時)  
6月25日(午後2時)  
6月26日(午後2時)  
6月27日(午後2時)  
6月28日(午後2時)  
6月29日(午後2時)  
6月30日(午後2時)  
7月1日(午後2時)  
7月2日(午後2時)  
7月3日(午後2時)  
7月4日(午後2時)  
7月5日(午後2時)  
7月6日(午後2時)  
7月7日(午後2時)  
7月8日(午後2時)  
7月9日(午後2時)  
7月10日(午後2時)  
7月11日(午後2時)  
7月12日(午後2時)  
7月13日(午後2時)  
7月14日(午後2時)  
7月15日(午後2時)  
7月16日(午後2時)  
7月17日(午後2時)  
7月18日(午後2時)  
7月19日(午後2時)  
7月20日(午後2時)  
7月21日(午後2時)  
7月22日(午後2時)  
7月23日(午後2時)  
7月24日(午後2時)  
7月25日(午後2時)  
7月26日(午後2時)  
7月27日(午後2時)  
7月28日(午後2時)  
7月29日(午後2時)  
7月30日(午後2時)  
7月31日(午後2時)  
8月1日(午後2時)  
8月2日(午後2時)  
8月3日(午後2時)  
8月4日(午後2時)  
8月5日(午後2時)  
8月6日(午後2時)  
8月7日(午後2時)  
8月8日(午後2時)  
8月9日(午後2時)  
8月10日(午後2時)  
8月11日(午後2時)  
8月12日(午後2時)  
8月13日(午後2時)  
8月14日(午後2時)  
8月15日(午後2時)  
8月16日(午後2時)  
8月17日(午後2時)  
8月18日(午後2時)  
8月19日(午後2時)  
8月20日(午後2時)  
8月21日(午後2時)  
8月22日(午後2時)  
8月23日(午後2時)  
8月24日(午後2時)  
8月25日(午後2時)  
8月26日(午後2時)  
8月27日(午後2時)  
8月28日(午後2時)  
8月29日(午後2時)  
8月30日(午後2時)  
8月31日(午後2時)  
9月1日(午後2時)  
9月2日(午後2時)  
9月3日(午後2時)  
9月4日(午後2時)  
9月5日(午後2時)  
9月6日(午後2時)  
9月7日(午後2時)  
9月8日(午後2時)  
9月9日(午後2時)  
9月10日(午後2時)  
9月11日(午後2時)  
9月12日(午後2時)  
9月13日(午後2時)  
9月14日(午後2時)  
9月15日(午後2時)  
9月16日(午後2時)  
9月17日(午後2時)  
9月18日(午後2時)  
9月19日(午後2時)  
9月20日(午後2時)  
9月21日(午後2時)  
9月22日(午後2時)  
9月23日(午後2時)  
9月24日(午後2時)  
9月25日(午後2時)  
9月26日(午後2時)  
9月27日(午後2時)  
9月28日(午後2時)  
9月29日(午後2時)  
9月30日(午後2時)  
10月1日(午後2時)  
10月2日(午後2時)  
10月3日(午後2時)  
10月4日(午後2時)  
10月5日(午後2時)  
10月6日(午後2時)  
10月7日(午後2時)  
10月8日(午後2時)  
10月9日(午後2時)  
10月10日(午後2時)  
10月11日(午後2時)  
10月12日(午後2時)  
10月13日(午後2時)  
10月14日(午後2時)  
10月15日(午後2時)  
10月16日(午後2時)  
10月17日(午後2時)  
10月18日(午後2時)  
10月19日(午後2時)  
10月20日(午後2時)  
10月21日(午後2時)  
10月22日(午後2時)  
10月23日(午後2時)  
10月24日(午後2時)  
10月25日(午後2時)  
10月26日(午後2時)  
10月27日(午後2時)  
10月28日(午後2時)  
10月29日(午後2時)  
10月30日(午後2時)  
10月31日(午後2時)  
11月1日(午後2時)  
11月2日(午後2時)  
11月3日(午後2時)  
11月4日(午後2時)  
11月5日(午後2時)  
11月6日(午後2時)  
11月7日(午後2時)  
11月8日(午後2時)  
11月9日(午後2時)  
11月10日(午後2時)  
11月11日(午後2時)  
11月12日(午後2時)  
11月13日(午後2時)  
11月14日(午後2時)  
11月15日(午後2時)  
11月16日(午後2時)  
11月17日(午後2時)  
11月18日(午後2時)  
11月19日(午後2時)  
11月20日(午後2時)  
11月21日(午後2時)  
11月22日(午後2時)  
11月23日(午後2時)  
11月24日(午後2時)  
11月25日(午後2時)  
11月26日(午後2時)  
11月27日(午後2時)  
11月28日(午後2時)  
11月29日(午後2時)  
11月30日(午後2時)  
12月1日(午後2時)  
12月2日(午後2時)  
12月3日(午後2時)  
12月4日(午後2時)  
12月5日(午後2時)  
12月6日(午後2時)  
12月7日(午後2時)  
12月8日(午後2時)  
12月9日(午後2時)  
12月10日(午後2時)  
12月11日(午後2時)  
12月12日(午後2時)  
12月13日(午後2時)  
12月14日(午後2時)  
12月15日(午後2時)  
12月16日(午後2時)  
12月17日(午後2時)  
12月18日(午後2時)  
12月19日(午後2時)  
12月20日(午後2時)  
12月21日(午後2時)  
12月22日(午後2時)  
12月23日(午後2時)  
12月24日(午後2時)  
12月25日(午後2時)  
12月26日(午後2時)  
12月27日(午後2時)  
12月28日(午後2時)  
12月29日(午後2時)  
12月30日(午後2時)  
12月31日(午後2時)

# CHARLES AZNAVOUR

## シャルル・アズナヴール

生誕94周年 特別記念 来日コンサート

### 大阪公演

2018年5月21日(月)  
NHK大阪ホール  
開場 18:00 開演 19:00  
S指定席 ¥16,500 (税込)

### 東京公演

2018年5月23日(水)  
NHKホール  
開場 18:00 開演 19:00  
S指定席 ¥16,500 (税込)

\*日仏シャンソン協会ではS席のみ取扱い致します。

●ご予約・お問合せ ● 日仏シャンソン協会

TEL 052-733-8937 mail / info@afjc.net



Photo: ©Nicholas Aznavour

### 米国版懐メロで甦る戦後の社会

#### 「マイ・ブルー・ヘヴン」

戦後の社会を知る世代には、たまたま懐かしいステージである。メロリー・アーティスト・カンパニー(芸術監督・永見隆幸)と名古屋市文化振興事業団が共催したミュージカル「マイ・ブルー・ヘヴン」(脚本・演出・伊藤田静弘)である。

この作品、ステージ上にはビッグバンドが鎮座しているが、実質男は元歌手で、現在は芸能プロダクションのマネージャーをしているキンちゃん(吉武大地)。女は場末のクラブ歌手ジュディ(目次恭子)。幾つかの偶然が重なり合い、二人はクラブのステージに立つことになる。



劇中では「My Darling Clementine」「My Blue Heaven」など、戦前流行した米国版懐メロ26曲が歌われる。

歌は雄弁に時代や社会を甦らせる。今思えば、貧しかったが、心豊かな時代だった。

#### 劇団名古屋

社会の矛盾や疑惑をテーマに演劇活動を展開

### 障がい、憤り、やるせなさ、そして



「ありがごとく」

したことで、俳優やダンサーが端に追いやられた印象が強い。果たして二人芝居にビッグバンドは必要だったのか、意見の別れるところではある。

11月25・26日・芸術創造センター。

### 伝わる「演劇に出会えた喜び」



「月待つ宿に雨降りて」

た(11月25・26日・港文化小劇場)。

「障がい」をテーマに、「憤り」や「やりきれなさ」そして「やさやかな希望」を混在させた庶民群像劇。「福祉」を置き去りにして急成長した戦後の日本。そのしわ寄せは、結局弱者に及ぶのだと、ドラマは訴える。

主人公は障がいのある息子をもつ磯野夫妻。夫

妻は積極的に地域と連携し、障がい者施設建設に情熱を傾けている。しかし長女の婚約が、障がいのある兄のために挫折し、改めて社会の偏見に絶句する。

今回もまた、磯野家の祖母を演じる劇団の大黒柱、ごとうてるよの熱演に心を揺さぶられる。磯野家の人びとは、「障がい児を育てたつもりが、実は(障がい児に)育てられていたのだ」と人生を振り返るのである。

#### STRINGS

「私たち、名古屋で一番平均年齢の高い劇団です」と自己紹介するSTRINGSが、第4回公演「月待つ宿に雨降りて」(12月1・3日・昭和文芸小劇場)を行った。6人のメンバーに2人の客演を加え上演したのは、近代日本文学の名作とされる怪異小説「雨月物語」(著・上田秋成)を題材にしたコメディ。

人物たちが現れ、物語の書き直しを申し出る奇想天外な物語。6人の団員はテンポの速い出ハケと長ぜりふに悪戦苦闘しながらも熱演し、麻創の文芸世界を描出した。

### 聞奏曲

今から2年ほど前、大腸がんと診断された。手術後、抗がん剤治療を受けながら演奏活動を続けていた。それをコンサートで自ら公表。内心は想像に難くないが、明るく

名古屋を代表するギタリスト酒井康雄さんが11月24日に亡くなった。まだ67歳。まさかの悲報に絶句した。

### ギタリスト酒井康雄さんをしのぶ

話す様子に、これなら大丈夫と安心していった。

最後に演奏を聴いたのは7月。ピアノの伊藤仁美と「アランフェス協奏曲」などスペイン作品を味わい深く聴かせた。12月にはテノール井原義則とシューベルト「美しい水車小屋の娘」を演奏する予定だった。私も楽しみにしていたのだが...

#### 私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

- 青山 皆江 越智久美子 つつみあつき
- 秋田 巴喜子 小野由加利 手塚 淑子
- 阿久津 紀子 加藤 静子 戸田美江子
- 浅井 孝子 金澤 志保 中川 幸作
- 荒川 洋子 蟹江 尾八 仲条 優理
- 出田 光代 神谷久美子 夏目 久子
- 伊藤 敬 黒沢 優子 名鶴ひとみ
- 伊藤 直樹 小池 真琴 西川 長秀
- 稲垣 舞比 工藤寿々弥 野々山保治
- 井上 初子 神原菜生 野村 祐子
- 斎 千龍 佐藤 典子 服部 節子
- 内田 寿千代 佐藤美智子 服部はる江
- 内田 寿典 澤脇 達晴 花柳 馨優
- 内田 寿晴 島田 倫子 林 雅仁
- 内田 寿哉 白樺 八重 淵本晴都子
- 内田 寿翠 瑞鳳 澄依 松本 道子
- 内田 寿千鶴 鈴木久美子 見波 紀子
- 内田 寿美 鈴木 文雄 みやちともこ
- 内田 寿美知 角田真優美 宮西 圭子
- 大寺 資二 高橋 肇 山口 雅子
- 岡田 一男 武市 孝三 よしみゆうこ
- 岡田 純奈 竹元まき子 渡部 千枝
- 岡崎 保彦 田淵友佳理 ほか
- 小倉ひろこ 玉田 弘子

#### 会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6480円(税込)です。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に

お申し込み、お問い合わせは(株)マネージメント・プロ 052-733-3151。(733)3151。郵便振替口座00880-6-206130。

### 古典の名曲を現代音楽として再生



別所知佳と天野武子

「東春西秋」  
当日は平野一郎作曲の「東春西秋」

### 舞台批評

#### 「洋と和の調べ」

箏とチェロに依る邂逅(委嘱新作)をメーンに、宮城道雄の「春の海」「瀬音」、バッハの「無伴奏チェロ組曲第3番」ほかを演奏

「東春西秋」は調性のある現代音楽で、古典の名作「六段の調」(八橋検校)をリメイクしたものだ。すぐに分かった。しかしアンサンブルは複雑で、五線譜を用いるチェロと絃名譜(げんなん)を用いる箏が、よくもまあピッタリと合うものだと感じた。

プログラムの挨拶文からは、邦楽に対する危機感と、それを克服しようという気概が伝わる。流派的な通例だのと自制ばかりでは、日本の古典芸術は埋もれてしまう。

時は現代、三文作家・秋田のもとに「雨月物語」の成仏できなかった登場

#### 短評

藤原歌劇団オペラ公演「ナヴァラの娘」道化師(2作上演)2月4日(午後2時)芸術劇場大ホール。出演は小林厚子、小山陽二郎、笛

田博昭ら。演出はマルコ・ガンディーニ。管弦楽は柴田真都指揮/セントラル愛知交響楽団。全指定1万2000円、3000円。予約約03(672)0874。

HITOMI HALL Prism Stage  
HITOMIホール プリズムステージ  
多彩に煌めくステージをHITOMIホールで——  
MBA イベント事業部が企画するHITOMIホール プリズムステージ、その他の公演についても随時、情報発信しています  
<http://event.menicon-ba.co.jp/>

チケットお申込み・お問合せ  
[メニコンビジネスアシスト (MBA) イベント事業部]  
電話 052-935-1630 (平日10:00~17:00)  
メール mba-event@menicon-net.co.jp

掛ける音楽、漲る情熱、アルゼンチンタンゴ  
水野慎太郎タンゴヴァイオリン  
[SHINTARO MIZUNO Tango Violin]  
2018 1/31(水) 18:45開演 | 18:15開場  
料金 / 前売・当日 一般 3,000円 [全自由席]  
出演 / 水野慎太郎(ヴァイオリン) 綾部美和子(ピアノ) 水野慎太郎  
西原なつき(バンドネオン) グスタボ・エイリス(ギター)

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6480円(税込)です。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に

キラキラ輝く音色、成長に期待

ピアノ上田麻里江

ピアノ上田麻里江のライサیتال(11月22日・電気文化会館)は、型にはまらない演奏スタイルが新鮮だった。

前半はモーツァルト、後半はドビュッシー中心で曲調のまったく異なる組み合わせ。大人の演奏会では珍しい通称「きらきら星変奏曲」で始める親しみやすさ。モーツァルト最後のピアノソナタ第18番は、かなり難しい作品だが、モーツァルトらしい音できれいにまとめた。

初めのソロリサイタルも自然体で

キラキラ光る珍しい衣装と同じように、音も明るく輝いていた。こういう音を出せる人は少ない。今後の成長が期待される。

ピアノ橋本歩は、タイトルイメージをいかに表現できるかが課題だが、彼女なりに明快に弾き分けた。

ピアノ橋本歩

トラや室内楽では欠かせない、緑の下の力持ち。ソロ楽器の作品は、きわめて少ない。橋本もやはりアンサンブル活動が中心で、ソロでのリサイタルはこれが初めてだ。



上田麻里江リサイタル



橋本歩リサイタル



小坂井聖仁リサイタル



武満徹の小品もあって、メーソンのショスタコーヴィチ「ピアノ・ソナタ」は30分もの大作で、現代的な難曲。しかも死の直前に完成した最後の作品となれば、若手には荷が重いはず。

織細で緊密、ドイツ留学の成果

バイオリン小坂井聖仁

バイオリンの小坂井聖仁が、桐朋大からドイツに留学、5年間の研鑽を経て帰国した記念のリサイタル(11月27日・電気文化会館)を開いた。

その成果を披露する集大成とあって、バラエティーに富み、内容豊かなプログラム。最初のドボルザーク「4つのロマティックな小品から、

さらには磨きがかかれば貴重なバイオリン奏者になるだろう。

宮田大 DAI MIYATA Cello Recital 2018. チェロ・リサイタル 2018. Program: カミーユ・サン＝サーンス「白鳥」...

サカリ・オラモ指揮 BBC交響楽団 2018.3.10(土) 日本特殊陶業市民会館フォレストホール

Super Classic Concerts 第22回 スーパークラシックコンサート. 小澤征爾音楽塾 オペラ・プロジェクト VII. 2018.3.21(水・祝) 愛知県芸術劇場大ホール

徳永二男 Tsugio Tokunaga Violin Recital. ヴァイオリン・リサイタル. 2018.2.25(日) 14:00開演 [13:15開場]. 三井住友海上 しまわホール

クラシック名古屋 052-678-5310. 奏でる人を聴きたい人へ 人と音をつなぐ.

クラシックコンサートのチケットは アイ・チケット 0570-00-5310 (10:00~17:00 ※日祝休み).

クラシック名古屋のプレイガイド「アイ・チケット」. 多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のこまごまでオペレーターが丁寧にサポートいたします。